

飯山市 地方創生交付金事業

資料 2

総合戦略の推進に資する事業を対象とし、事業費の1/2が交付金として交付される事業。

(単位 円)

表1 各事業の交付金の額

分類	事業名	交付額	交付額	交付決定額	申請額	合計	
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
①	ソフト	起業・移住定住支援ネットワーク推進事業	4,651,519	8,279,788	6,200,000		19,131,307
②	ソフト	飯山市菜の花公園地域観光資源創生事業	1,564,088	6,058,131	2,700,000		10,322,219
③	ソフト	信越自然郷におけるDMO構築推進事業		6,331,000	5,936,000	5,936,000	18,203,000
④	ハード	飯山市子育て支援推進拠点整備事業 (子ども館 放課後ディサービスの整備)		14,971,162			14,971,162
⑤	ソフト	【申請中】移住の推進と定住のための職・活動の場創出事業				11,097,000	
合計			6,215,607	35,640,081	14,836,000		62,627,688

ソフト： 地方創生交付金事業

ハード： 地方創生拠点整備交付金

① 起業・移住定住支援ネットワーク推進事業【H28-H30】

起業と移住定住支援の推進を行う拠点として、既存施設をリノベーションし、起業支援と移住定住支援を合わせたネットワークの構築を行う事業である。
 インキュベーションセンター機能を持つ起業支援センターを介して、市内の既存事業、技術を活用した事業展開の支援を行うもの。
 移住については、都内での相談会、見学等を通じて、移住先としての飯山市のPR、移住促進を図るもの。

No	KPI設定値	単位			現年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	根拠 達成率	評価	総括
①	起業件数 (起業支援センター利 用者数)	件	目標値	増加分		3	5	7			少しずつであるが利用者が増えている。 起業支援センターから市内への起業には 届いていない。事業者等の誘致や支援策の コーディネート等技能がある管理者の配置。 条例による使用の制限が、利用者に不便な ところがある。 (H29年度は、2件の新規利用があったが、 1名は年度内で撤退したため、累計上1減と している。)
				累計	2	3	8	15			
			実績値	年度計 (新規)	2	0	2	1	見込	×	
				累計		2	3	4	27		
②	移住件数	人	目標値	年度計 (新規)		55	55	55			目標をはるかに超える成果があった。(100 人を超える見込み。) 移住者向けの住居や、補助等の様々な移 住施策の効果があったものとする。
				累計	22	55	110	165			
			実績値	年度計 (新規)	22	71	88	76	H30.12月 末時点	◎	
				累計		71	159	235	142		

② 飯山市菜の花公園地域観光資源創生事業【H28-H30】

新幹線開業効果を生かすため、市の代表的なイベント「いいやま菜の花まつり」、会場である公園、さらに地域経済の活性化と雇用の拡大へとつなげるもの。黄色に着目した「幸せを呼ぶ場所」、パワースポットとしての活用を図る事業を推進するもの。

幸せ呼ぶ黄色いグッズクラフトフェア、アウトドアウエディング、幸せの黄色いベルと郵便ポストの設置、新商品の開発

文化学園大学、伝統工芸技術とデザインアイデアのマッチングを図り、商品開発し、会場内で土産品として販売し、起業へとつなげるもの。

No	KPI設定値	単位		現年度	H28年度	H29年度	H30年度	根拠達成率	評価	総括
①	菜の花公園来場者数	万人	目標値	増加分	-	0.5	0.6			(総合戦略に同じ) ハッピーイエローをテーマにPR、企画を展開し、誘客を行った。
				年度計	4.0	4.0	4.5			
			実績値	増加分	-	0.6	-0.3	確定値 84	○	
				年度計	4.0	4.0	4.6			
②	土産品開発等による商品化件数 (開発件数)	件	目標値	増加分	-	5	10			年度内には、目標達成の見込み。 学生の感性を入れ、和紙、仏壇作成技術などの伝統産業を生かし、菜の花の黄色をベースに開発を行った。
				累計	6	6	11			
			実績値	増加分	-	5	8	見込み 90	○	
				累計	6	6	11			
②	起業支援による起業件数 (菜の花に係る部分)	件	目標値	増加分	-	1	2			GW前後の菜の花の開花中のイベント期間が一番の商機となるが、限られていた。 起業にはつながらなかった。
				累計	2	2	3			
			実績値	増加分	-	0	0	見込み 40	×	
				累計	2	2	2			

③ 信越自然郷におけるDMO構築推進事業【H29-H31】

【事業計画書抜粋】

信越自然郷エリアが、世界水準の滞在型観光地となるべく、「信越9市町村広域観光連携会議」と地域連携DMOである「信州いいやま観光局」が一体、連携し、次の事業を実施する。

- DMO構築及び組織強化
- 保養・獲得型旅行商品開発及びプロモーション
- 地域ブランドを生かすための受入れコンテンツ整備

H30年度の主な取組の概要

長野県の8市町村(飯山市、中野市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村)、新潟県の1市(妙高市)にまたがる地域連携DMOとして、地域の特色を活かしたアウトドアアクティビティ環境の整備、情報発信を行ったことで、地域の価値を広めてくれるファン、リピーターの獲得に寄与した。また、Wi-Fiデータを活用した来訪者の動向調査(携帯電話の位置情報)を行ったことで、魅力ある広域観光旅行商品の造成が可能となった。

※ 各KPIの設定値は、数字は、「暦年(1月-12月)」で算出している。

No	KPI設定値	単位		現年(H27)	H29	H30	H31	数値の根拠	評価	主な活動内容	次年度の取組	
①	観光消費額 (対象:長野県内)	億円	目標値	増加分		8	8	9	/	/	都市圏事業者との連携 販売広域ツアー375名 (1,985人泊)。 交通ガイドマップ・広域パン フ制作。サイクルステーション設 置と環境整備ジャパンエコラッ ク・サイクルルートガイドマップ印 刷。 データの収集と活用。 駅案内所の利用者数の 推移より、外国人旅行者 の訪問数が伸びている。	引き続き取り組む。
				年計	441	449	457	466				
			実績値	増加分		-8	-10		確定 93	○		
				年計	441	433	423					
②	延宿泊者数 (対象:長野県内)	万人	目標値	増加分		11	11	11	/	/		
				年計	564	575	586	597				
			実績値	増加分		-10	71		確定 107	◎		
				年計	564	554	625					
③	飯山駅観光案内所(ワンストップ)窓口利用者数	人	目標値	増加分		1,309	1,335	1,362	/	/		
				年計	65,464	66,773	68,108	69,470				
			実績値	増加分		-13,702	-1,338		確定 74	○		
				年計	65,464	51,762	50,424					

参考

参考	単位	実績値	年計	2,103	8,037	11,188	確定	前年比139%
駅観光案内所外国人利用者数	人	実績値	年計	2,103	8,037	11,188	確定	前年比139%